

9月定例議会 町政報告

町政報告要旨

▼令和6年度普通交付税交付額の決定

町の普通交付税交付決定額は17億5,991万1千円で、前年度当初算定額14億7,586万6千円と比較し、2億8,404万5千円・19・2%の増となっています。また臨時財政対策債発行可能額は724万3千円で、対前年度比406万円で、35・9%の減となり、この2つを合わせた実質的な交付税額は、対前年度比2億7,998万5千円・18・8%の増となりました。

たな算定項目による基準財政需要額の増や、高齢者保健福祉費におけるサービス利用人数の増、公債費における過疎対策事業債償還額の増などにより、対前年度比1・3%の増となりました。

基準財政収入額は、法人税割をはじめとした市町村民税の減少が大きく影響し、前年度比21・4%の大幅な減少となりました。

基準財政需要額が増加した一方で、基準財政収入額が減少したことにより、普通交付税決定額は、前年度比19・2%増での決定となっています。

基準財政需要額は、公債費における臨時財政対策債償還額の減や保健衛生費における国民健康保険被保険者数の減などの減少要因があったものの、子ども・子育て政策の推進のため創設された「子ども子育て費」などの新

臨時財政対策債は、地方財源の不足に対処するため地方財政法の特例として発行するもので、その元利償還金については翌年度以降の基準財政需要額に全額算入されます。

通交付税は16億円、臨時財政対策債は8百万円を計上していますので、既決予算額に対する留保財源は、1億5,915万4千円となっています。

▼普通共用林野の運営状況

入林料徴収関門は、今年も樹海ライン沿いの5か所に設置し、5月18日朝4時から運営を開始しましたが、同日13時頃、鹿角市十和田大湯字大湯の大平林道付近で遭難者を捜索していた警察官が、クマに襲われるという事故が発生しました。

入林料徴収関門は事故現場からの距離が近く、安全が確保できないと判断したことから、翌19日から樹海ライン沿いの入山規制を実施し、全ての関門を閉鎖するとともに、マスコミ報道やチラシ作成による周知を行いました。

令和6年第6回小坂町議会が9月5日から13日までの会期で開かれ、条例改正・補正予算等15議案が可決されました。町政報告の要旨をお伝えします。

なり、入林者数は町外者275人、町内者27人の計302人となりました。

なお、入林許可書は179人に交付しましたが、入山規制に伴い許可書の払い戻し措置をとり、68人に払い戻しを行いました。

収支決算見込みは、収入は積立金取り崩し分124万円を含めた約190万円に対し、支出は約158万円となる見込みです。

▼町長との懇談会

まちが目ざす将来像である「ひとと自然と文化を未来につなぐ魅力あふれるまち」に向けて、より多くの町民からの意見をなどを反映し、また、積極的にまちづくりに参加していただくために、自治会連絡協議会ごとに4回に分けて、「町長との懇談会」を8月22日から29日までにかけて開催し、総勢53名にお

主な議決事項

●条例改正

- ◆小坂町康楽館使用料徴収条例
- ◆小坂鉄道レールパーク設置条例

●認定

- ◆令和5年度一般会計歳入歳出決算、特別会計歳入歳出決算、水道事業会計決算及び下水道事業会計決算

●任命・選任

- ◆小坂町教育長の任命
- ◆小坂町情報公開審査会委員の選任
- ◆固定資産評価審査委員会委員の選任

- ◆小坂町教育委員会委員の任命

●補正予算

【令和6年度】

- ◆一般会計第3号
- ◆国民健康保険特別会計(第1号)
- ◆後期高齢者医療特別会計(第1号)
- ◆介護保険特別会計(第2号)
- ◆歯科診療所特別会計(第1号)